

## あいさつ

大阪市立中学校教育研究会  
特別支援教育部長 金森 茂生

まず機関紙「特別支援教育」第65号の発刊にあたり、貴重な教育実践や研究成果をお寄せいただきました先生方、発刊に向けご尽力いただきました編集委員の先生方をはじめ、携わっていただきましたすべての皆様に心より感謝申しあげます。

大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部では「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」を研究主題に取り組んでいます。子どもたちが周りの温かいまなざしのもと認められ、「自己有用感」を育てることで社会参加の基礎としての「生きる力」の育成につながることが望まれています。そして特別支援教育を全校的な課題として教職員全体で取り組む教育実践と研究・発信が大切です。その取り組みの充実のため、本研究部と大阪市特別支援教育担任者会が一体となり、大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進担当等と連携を図りながら進めています。

コロナ渦も3年目に入りましたが、残念ながら今年も「ふれあいステイ」「ふれあいデイキャンプ」が中止となりました。一方、4年ぶりに「合同うんどうかい」、3年ぶりに「生徒作品展」を実施することができ、多数の生徒の活躍・交流を見ることができました。またリモート開催や紙上開催等の方法で研究・研修の成果を発信しました。全市研究発表会では「ポジティブ行動支援を理解して実践する～行動問題への対応を中心に～」と題して、大阪教育大学の野田航先生にご講演をしていただきました。今年度はブロックごとの研究発表会も行いました。年度末研修報告会では3ブロックの大和川中学校、4ブロックの矢田中学校・阿倍野中学校の取り組みを発表していただきました。近畿特別支援教育連絡協議会研究大会大阪市大会においては、立命館大学の宮口幸治先生に「ケーキの切れない非行少年たちと頑張れない子どもたち」と題した記念講演をしていただき、誌上分科会では市岡中学校から交流・共同学習の実践を発表していただきました。インクルーシブ研修会を各学期に開催し、自立活動や通級指導、不登校対応等について実践交流を深めました。さらに「中養タイムズ」で各校の貴重な実践報告をしていただきました。

最後になりましたが、様々な行事・研修等の企画・準備・開催等にご支援ご協力をいただきました大阪市特別支援教育担任者会、大阪市教育委員会、大阪市立中学校長会特別支援教育部、小学校教育研究会特別支援教育部、旧大阪市立特別支援学校をはじめ関係諸団体や多くの皆さまに深く感謝申しあげるとともに、大阪市の特別支援教育の益々の発展、深化充実を祈念してあいさつとさせていただきます。

「特別支援教育」第 65 号の発刊に寄せて

大 阪 市 教 育 委 員 会  
インクルーシブ教育推進担当  
課 長 平 岡 昌 樹

大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部の活動と研究の成果をまとめられました「特別支援教育」第 65 号の発刊に際しまして、ごあいさつを申し上げます。

中学校教育研究会特別支援教育部におかれましては、令和 4 年度、大阪市立中学校教育研究会研究発表をウェブ開催され、大阪教育大学野田航先生の「ポジティブ行動支援を理解して実践する～問題行動への対応を中心に～」と題したご講演をとおして、「行動問題」への対応方法について、研究を深められました。また、中学校特別支援教育担任者会と連携し、「中学校特別支援学級 合同うんどう会」「第 60 回 大阪市中学校特別支援学級・特別支援学校生徒作品展」を開催いただくなど、本市特別支援教育の充実・発展に向け、日々取り組まれていることに深く敬意を表しますとともに、お礼を申し上げます。

さて、令和 4 年 4 月に文部科学省より「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について(通知)」が示されました。通知では、学びの場の判断、交流及び共同学習の時数、自立活動の実施、通級による指導の活用について改めて国の考え方が表されました。

本市では、これまでより障がいの有無に関わらず、地域で「共に学び、共に育ち、共に生きる」教育を進めており、今後も、通常学級、通級による指導、特別支援学級等、多様な学びの場における特別支援教育の充実に努めてまいります。さらに、令和 4 年新たに策定した「大阪市教育振興基本計画」に示しているよう、「障がいのある児童生徒の自立と社会参加を見据えて、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援が提供できるよう、通常学級、特別支援学級、通級による指導での学びを充実」させ、本市のインクルーシブ教育のより一層の充実を図ってまいります。各校におかれましては、特別支援学級に在籍する生徒に対して、個に応じた「特別の教育課程」が編成され、その教育課程に基づいて、生徒の将来に向けた「自立活動」の授業実践が展開されますよう改めてお願いいたします。

教育委員会としましては、今後も貴特別支援教育部並びに担任者会と一層連携を深め、障がいのある生徒の学びの場を拡充し、本市の特別支援教育のさらなる充実に努めてまいりたいと存じます。

最後になりましたが、貴特別支援教育部と担任者会のご発展、並びに関係の皆様の益々のご活躍を祈念いたしましてごあいさついたします。